

# 朗読コンテスト

令和8年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業



## 「旅する文学」

### 【課題作】指定部分

作家名	作品名	参考書籍	頁	指定範囲(読み始め～読み終わり)
伊藤左千夫	野菊の墓	岩波文庫 『野菊の墓』他七篇 2025.11 発行	23-24頁	民子の美しい手で ～話はちょっと途切れてしまった。
江戸川乱歩	押絵と旅する男	岩波文庫 『江戸川乱歩短篇集』 2008.8 発行	298-300頁	私たちの二等車には、 ～窓のところへ立てかけたのである。
谷崎潤一郎	秘密	新潮文庫 『刺青・秘密』 1969.8 発行 2011.11改版	99-100頁	己は随分旅行好きで、 ～ハタリと行き逢うことがたびたび あった。
宮沢賢治	銀河鉄道の夜	新潮文庫 『新編 銀河鉄道の夜』 1989.6 発行 2012.4 改版	255-256頁	「カムパネルラ、また僕たち二人きりになつたねえ、 ～腕を組んだように赤い腕木をつらねて 立っていました。
夏目漱石	坊っちゃん	岩波文庫 『坊っちゃん』 2003.12 発行	17-18頁	いよいよ約束が極まって、 ～何だか大変小さく見えた。

※作品の中には、朗読しやすいように表記を改めたものがあります。

## お問い合わせ

〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2  
跡見学園女子大学 文京キャンパス事務室 朗読コンテスト係  
Mail : roudoku@atomi.ac.jp URL : <https://www.atomi.ac.jp/univ/>  
※問い合わせはメールのみ

